【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2001-317372(P2001-317372A)
【公開日】平成13年11月16日(2001.11.16)
【出願番号】特願2001-65845(P2001-65845)
【国際特許分類】
Ｆ０２Ｃ　7/18　(2006.01)
Ｆ０１Ｄ　5/08　(2006.01)
Ｆ０１Ｄ　25/16　(2006.01)
Ｆ０２Ｃ　7/06　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　37/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０２Ｃ　7/18　Ｅ
Ｆ０１Ｄ　5/08
Ｆ０１Ｄ　25/16　Ｈ
Ｆ０２Ｃ　7/06　Ｆ
Ｆ１６Ｃ　37/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月6日(2008.3.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 タービンエンジンロータ軸（２６）と軸受け（９６）との間で、前記ロータ軸からある距離をおいて配設された軸（１１０）を含み、前記軸（１１０）が前記タービンロータ軸と軸受けアセンブリ（９４）との間に配設された複数のパイロット（１２０，１２２）を含む軸受け断熱システム（４０）を使用して、タービンエンジンロータ軸と軸受けアセンブリとの間の熱伝導を減少させる方法であって、
前記タービンエンジン（１０）を動作させる段階、及び
前記軸受け断熱システムの軸と前記タービンロータ軸との間に規定された間隙（１３０）の中へ冷却空気（１４０）を導く段階
を含んでなる方法。
【請求項２】 前記複数のパイロット（１２０，１２２）は複数の開口を含み、前記冷却空気（１４０）を導く段階は、前記複数のパイロットの開口を通して、前記タービンロータ軸（２６）と前記軸受け断熱システム軸（１１０）との間に形成された間隙（１３０）の中へ冷却空気を導く段階を更に含む、請求項１記載の方法。
【請求項３】 主軸（２６）と、前記主軸に回転自在に結合する軸受け（９６）とを含むガスタービンエンジン（１０）の軸受け断熱システム（４０）であって、前記主軸と前記軸受けとの間に配設された軸（１１０）を具備し、前記軸受け断熱システム軸は前記軸受けに結合し且つ前記軸受けを前記主軸から隔離するように構成されている軸受け断熱システム（４０）。
【請求項４】 前記軸受け断熱システム軸と前記主軸（２６）との間に配設された複数のパイロット（１２０，１２２）を更に具備する、請求項３記載の軸受け断熱システム（４０）。
【請求項５】 前記複数のパイロット（１２０，１２２）は、前記主軸（２６）から前記

軸受け（９６）への熱の伝導を減少させるための熱障壁を形成する、請求項４記載の軸受け断熱システム（４０）。
【請求項６】 前記軸受け（９６）は前記軸受け断熱システム軸（１１０）に締まりばめにより結合されている、請求項５記載の軸受け断熱システム（４０）。
【請求項７】 第１のロータ（６０）と、
前記第１のロータが結合しているロータ軸（２６）と、
前記ロータ軸に回転自在に結合する少なくとも１つの軸受け（９６）と、
前記ロータ軸と前記軸受けとの間に配設された軸受け断熱システム軸（１１０）
を具備し、前記軸受けを前記ロータ軸から隔離するように構成された軸受け断熱システム（４０）と
を具備するガスタービンエンジン（１０）のロータ構体（１８）。
【請求項８】 前記軸受け断熱システム軸（１１０）は前記ロータ軸（２６）からある距離をおいて配設されている、請求項７記載のロータ構体（１８）。
【請求項９】 前記軸受け断熱システム（４０）は、前記軸受け断熱システム軸（１１０）と前記ロータ軸（２６）との間に配設された複数のパイロット（１２０，１２２）を更に具備する、請求項８記載のロータ構体（１８）。
【請求項１０】 前記軸受け断熱システムの複数のパイロット（１２０，１２２）は、前記ロータ軸（２６）から前記軸受け（９６）への熱の伝導を減少させるための熱障壁を形成する、請求項９記載のロータ構体（１８）。